

## 第2回文京区アカデミー推進協議会(スポーツ分科会) 議事要旨

日 時	平成27年6月24日(水) 18:30～20:30
会 場	文京シビックセンター3階 大ホール会議室2
委 員	会 長 青木 和浩 (順天堂大学准教授) 委 員 鴻瀬 太郎 (小学校PTA連合会 会長) 委 員 田辺 武之 (文京区体育協会 副理事長) 委 員 井上 充代 (文京区スポーツ推進委員会 副会長) 委 員 森岡 隆 (文京区国際交流フェスタ実行委員会 委員長) 委 員 小林 博 (区民公募委員) 委 員 金坂 吉雅 (区民公募委員) 委 員 黒田 千恵子 (区民公募委員) 委 員 真野 文孝 (施設担当係長)
事務局	細矢 剛史 (アカデミー推進部スポーツ振興課長) 熱田 直道 (アカデミー推進部オリンピック・パラリンピック推進担当課長) 松本 美恵 (アカデミー推進部スポーツ振興課スポーツ振興係長) 眞野 文孝 (アカデミー推進部スポーツ振興課施設等担当主査) 支援事業者 株式会社創建 氏原・本多

資 料 「次第」及び「第2回分科会の進め方について」  
スポーツ分野における課題  
第1回分科会「議事要旨」

### 議 事

#### 1. 開 会

#### 2. 委員等紹介・進行の確認

会長からの挨拶ののち、事務局より配布資料の確認と会議の進め方について説明が行われた。

#### 3. 議題

事務局より、第1回分科会での協議・ワークショップでの意見を整理し、報告が行われた。資料「スポーツ分野における課題」に用いて、新しい計画のスポーツ分野における区民目線での課題、関連する国・東京都の計画、社会動向について整理が行われた。

青木会長 国のスポーツ振興基本計画は、地方自治体だけでなく、日本オリンピック委員会(JOC)なども計画の推進主体となっている。JOCはJOCとしての使命があるが、東京都や地方自治体とは異なる。地方自治体ができることとそうでないことを分けて考えるとよいだろう。  
また、文京区において「子どもはこうあってほしい」という子ども像は、東京都のものと異なっているともよいと思う。

最後にオリンピック・パラリンピックに際しては、何ができるか考えたい。ただし、一過性のイベントに終わるのではなく、オリンピック・パラリンピックがあることで区民の考え方や取組が変化するという考え方が望ましい。

井上委員 女性がスポーツをしないことが気になっている。文京区は広い場所がなく、スポーツ施設が身近にないために運動しづらくなっている。ハード整備は難しいと思うので、道端にジョギングのための距離を示す表示があるなど、運動したいと思える仕掛けをするのはどうか。体を動かしたくなるまちなになることがよいと思う。

青木会長 大人のための公園があるとよい。

井上委員 自分はスポーツが好きなので、バスの待ち時間などに体を動かすことが多いが、一般の方には動かすためのきっかけがない。まちなかで体を動かすところが少しだけでもあるといい。そういう環境づくりをすることで変化するのではないか。

青木会長 バス停にストレッチの仕方が書いてあるとおもしろい。イラストで表示すれば外国人も分かる。

黒田委員 観光にもなるのではないか。

金坂委員 まちに小さなフィットネスクラブがある。シャワールームがあって、昇降台やストレッチ器具があるが、施設に関する情報が少なく入りづらい。そういった民間施設で適切なところを区が発信すると、安心感も与えられ、どこにあるかも分かるので、通いやすくなるのではないか。

黒田委員 女性専用が目立つ。男性用はないのか。

事務局 女性は一般のジムには通いにくいのではないか。

青木会長 女性専用の小規模なジムが増えている印象を受ける。筋力トレーニングだけでなく、ホットヨガなども増えている。

事務局 前年度のアンケートで「(スポーツを)やりたいが、できなかった」と回答した方の内訳をみると、20%を超えているのは男性では30代だけだった。女性は20～50代の女性で20%を超えているが、子育て世代だからかもしれない。

井上委員 子どもと一緒にできる事業を考えてはどうか。

青木会長 バレー教室で子どもと親を別のコースにすると、子ども向けの教室が託児になって、親はバレーに集中できる。

井上委員 スキー教室でも親子別々でやると、親は自由にできてよかったという感想があった。

小林委員 スポーツ交流ひろばの様子をみると、子どもは親と一緒にやりたがるので、幼い子どもは託児が成り立たないように思う。親が自由にスポーツを楽しむ機会にしたいが、難しい。

青木会長 テレビで体操番組をやっている。運動のきっかけはテレビでもよいのではないか。

黒田委員 「親子でストレッチ」のような事業がアカデミー文京で実施されているが、所管はどこか。子育て関係の部署か。

事務局 保健所や児童館等でやっている。スポーツ振興課以外にも、運動に関する

事業は実施している。

森岡委員 校庭を開放してもよいのではないかと。

鴻瀬委員 文京区の子どもは中学校受験が近づくと忙しくなるので、事業に参加しなくなる。ただ、世代を超えて交流できる機会があるとよい。区民体育大会も、世代別に分けて種目を行い、様々な世代の参加者が集まる場になるとよいのではないかと。

青木会長 イベントや情報を一元的に集約し、発信を続けていく必要がある。学校の保護者対抗戦を行ってはいるが、チームスポーツなので参加者を集めることが大変だ。

青木会長 経験者がまだ少ないニュースポーツがよいかもしれない。またパラリンピックのルールでスポーツをすると、経験の差が出ないので参加しやすいのではないかと。

金坂委員 プロ野球の二軍の試合もやっているが、ポイントカードをもっていると、試合を無料でみることができる。東京ドームとしては場内の飲食販売で利益がとれるようだが、区が協賛して区民優待などをしてはどうか。

黒田委員 千葉県民が安く東京ディズニーランドを楽しめる「千葉県民の日」のように、東京ドームにも区民優待があつていいかもしれない。

青木会長 都市対抗野球は企業シートがあるのではないかと。

事務局 文京区は日本野球機構(NPB)とも都市対抗野球ともつながりがある。東京ドームでの試合前の練習時間に幼稚園児を招待するといった取組は考えられる。

金坂委員 観光分野の話になるが、都市対抗の応援客に文京区を観光してもらうことも考えられる。

青木会長 1日に4試合があれば、試合の時間帯に応じて招待する年齢や住民層を分けることも考えられる。スポーツ観戦にとって東京ドームが大きな武器だろう。稼働を少ない時間帯を活かすことは考えてもよいだろう。

井上委員 そのような施設は他にあるか。

事務局 柔道の講道館がある。外国人の見学が多いと聞く。

黒田委員 文京区のロータリークラブが東北地方の少年野球チームを迎え、文京区、台東区などのチームと東京ドームで試合をするという事業を行っている。

事務局 夜のスポーツはおもしろいのではないかと。パラリンピックの種目など、みんなと一緒に楽しめるものを東京ドームで夜通しやる、など。文京区の目玉になるようなものが考えられないか。

事務局 集客できるものがない。

鴻瀬委員 2013年の国体の時にウォークラリーが行われた。スピードだけでなく、頭もつかうゲーム性のあるものだったので、観光と絡めて考えられるのではないかと。七福神まつりなどと関連づけて実施すると、区のことを学べてよい。

青木会長 毎年違うテーマで行うとよさそうだ。

鴻瀬委員 文京区ならではの問題を解きながら、区を歩くとおもしろい。

青木会長 スポーツの要素が加わるとよい。東京都のスポーツ実施率には散歩が入っている。だから70%と言えるのだと思うが、ウォークラリーもスポーツだと言っ

ていいのではないか。

森岡委員 区として盛り上がる事業は歓迎したい。

青木会長 文京区の売りになるような事業になるとよい。

文京区はラジオ体操の発祥地だというが、ラジオ体操のギネス記録に区が挑戦してみてもどうか。最も多い人が同時にラジオ体操をするなど。そういう目玉事業がスポーツのきっかけになることもある。

事務局 国体は現行計画の核となっていたが、今はない。文京区ならではの年に一度のお祭りのような事業があってもよい。

森岡委員 日本には体育協会が多いのはなぜか。自治体ごとにあるのは多すぎると思う。

青木会長 体育協会は多いと思う。

鴻瀬委員 観光分野に関わるが、区の様々なところに運動のためのマップがあるとよい。ウォーキングのコースと距離が書いてあったり、坂道が多いコースは運動量が多いといったことが載っているとよい。

青木会長 スポーツの視点で坂のマップをつくるのはおもしろい。

黒田委員 スポーツ吹き矢ができる場所も見せられるといい。

井上委員 スポーツ吹き矢は人気がある。講座は開かれるが、講座終了後に継続して取り組める場所がない。

青木会長 他の自治体だと講座のOB・OG会を組織することで継続性を出している。講座の参加者のOB・OGがコミュニティにつながるという。ただし、そのための場所が必要になるが、文京区は場所がない。

黒田委員 アカデミー文京でもできるのではないか。

井上委員 貸し切らなければならないので、難しい。

青木会長 文京区の思い切りになるが、吹き矢を活発にしようと思うのであれば、お茶も飲めるような吹き矢カフェをつくれればよいと思う。

井上委員 スポーツと別の何かを組み合わせるのはよいと思う。

黒田委員 体力測定もできればよいと思う。

青木会長 スポーツ一辺倒ではなく、おしゃべりやお茶も大事。そういう組み合わせであれば、スポーツが苦手な方も気軽に参加しやすくなる。

事務局 アカデミー推進計画は5つの分野があるが、区民がすべてをやることは難しいと思っている。そのなかでスポーツをしてもらうには、スポーツをすでにやっている人よりも、前向きでない人や苦手な人を対象にした方がよいと思う。

青木会長 高齢化率はどれぐらいか。

事務局 高い方だと思う。

パブリックビューイングの参加者に高齢者が多かったことに驚いた。

青木会長 超高齢化社会では要介護にならないことが重要だ。その観点では、まちなかで気軽に取組めるとよい。

森岡委員 スポーツに対する意識づけから行っていくとよい。ちょっとしたことでよいから日常的に家庭で取組もうと思えることが大切だと思う。

青木会長 「やってみてください」と言わないと、なかなかできないだろう。

小林委員 子どものことが気になる。学校の体育・部活はアカデミー推進計画でどのよ

- うに関わるのか分からないが、学校外で取り組める機会を子どもに提供していくことは考えられるか。
- 鴻瀬委員 ほんとうに機会がないのか。スポーツもやっているし、校庭で遊んでもいる。事業はたくさん行われているのではないかと考えている。
- 青木会長 子どもも二極化している。運動が得意な子どもがいれば、嫌いな子どももいる。その子どもたちをスポーツ好きにすることはいいと思う。
- 鴻瀬委員 スポーツを競技としてとらえると、参加しづらくなる。気軽に遊びながら体を動かすことが大事。アスリートとは違う。
- 井上委員 子どもに関して言うと体育教師が指導できなくなっている。
- 青木会長 指導要領でも体育の時間は増えている。先生も大変なので、地域が助ける部分もあるだろう。
- 黒田委員 子どものことはよく分からないが、子どもの体力低下ということは、技術ではなく、持久力だと認識していた。
- 青木会長 体力と理解してもらってよい。数値として低下しているが、アジアの子どもと比較すると成績はよい。学校教育の効果だと思う。
- 森岡委員 両親がスポーツをしている子どもは、環境があるのでよい影響があると思う。子どもにとって、家庭でできることを情報発信するとよいと思う。
- 事務局 学校とアカデミー推進部の役割分担を考えないといけない。文京区の特徴だが、イベントをやると小学5～6年生は受験勉強をしているので参加が少ない。自分たちの事業では4年生以下の参加になってしまう。
- 鴻瀬委員 文京区はたくさんのイベントをやっている。そういった場に参加しない子どもが気になる。特に私立の小・中学校に通う子どもは地域とつながりもないので参加しにくいのかもかもしれない。何か機会を与えてあげたいと思う。
- 青木会長 子どもだけを対象にするのではなく、両親が子どもを連れてきてもらうことを想定した方がよいだろう。
- 小林委員 地域運動会が開催されていて、景品を目当てに人が集まる。
- 森岡委員 学校対抗の運動会があるとよいと思う。
- 事務局 中P連の主催で、ドッジビー大会が中学校対抗で開催されていると聞いている。
- 鴻瀬委員 子どもが私立に通っている家庭だと、大会には参加しない。
- 事務局 文京区では約半分の子どもが中学進学時に私立に通うようになる。文京区の特徴だと思う。

事務局より、これまでの議論を整理した後、各委員から感想を聞いた。

- 黒田委員 生涯学習の分科会でも意見したが、副題に使われている「文の京」という言葉が文系のイメージがする。スポーツも含まれているので、再考できるとよい。
- 金坂委員 皇居ランナーの着替える場所がないため、銭湯を利用していると聞く。文京区では銭湯が減っているが、スポーツ後に立ち寄ってもらうために地図で発信してはどうか。

小林委員 スポーツ交流ひろばには一人で参加する人や留学生が来ることがあるが、すぐになじんでもらえる雰囲気が多い。

青木会長 留学生と交流できるのは素晴らしいと思う。

森岡委員 ほおずき市の開催時期にミニテニスの大会をやる予定なので、参加いただきたい。バーベキューやワインも楽しめる。

鴻瀬委員 文京区が東京の中心だという認識をもって、区民が自負をもってスポーツに関われるような事業ができるとうい。

青木会長 文京区ブランドをつくるという観点はよいと思う。今日の議論にはなかった視点だ。

井上委員 自分が活動している地域で学校対抗ドッジビー大会をするのだが、区全体に広げられるとういと思う。

事務局 活動のハードルを下げることや活動場所の工夫などの意見は、他の分科会でも意見として出ている。5つの分野で共通するものがあると思うので、分野間で連携して計画をつくりたい。

事務局 施設の管理を担当しているが、今日の議論はヒントをいただけたと思う。次回はスポーツを「支える」点やオリンピック・パラリンピックとの関係について話せるとよいと思う。

青木会長 オリンピック・パラリンピックについては、一過性のイベントとして終わるのではなく、レガシーとして何を残すのかということを文京区目線で話せるとよい。

#### 4. 閉 会

以上